

## 扶養申請(配偶者子以外認定対象者)基礎調書

<b>* 記号、番号</b>				<b>2.収入設問</b> (認定対象者の収入について該当する個所を記入の上、記入された収入に該当する右欄の書類を添付してください。)	<b>ア. 公的年金恩給等の支給を受けていますか。</b> (厚生年金、国民年金、共済年金、恩給、厚生年金基金、国民年金基金等) 年金の名称、種類 年金額(年額) 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	<b>添付書類</b> ⇒各種年金の直近の支給決定通知書の写 制度共同年金見込額回答票	
<b>被保険者名</b>	<b>氏名</b>	(印)					
<b>認定対象者名、生年月日、年令</b>	<b>氏名</b>	<b>男・女</b>	<b>年 月 日</b>	<b>才</b>			
<b>1.基本設問</b> (すべて記入してください。)	<b>ア. 扶養申請されるまでのいきさつについておきかせください。</b> (くわしく記入してください。)						
	<b>イ. 扶養申請される前はどなたの扶養でしたか。</b>						
	<b>ウ. 申請時点で認定対象者が加入されている医療保険制度についておきかせください。</b> 又加入している保険証の写をこの書類に添付願います。						
	<b>エ. 認定対象者は現在所得税法上あなたの扶養親族となっていますか。</b>					⇒雇用保険受給資格者証両面の写	
	<b>オ. 現在の認定対象者の健康状態についておきかせください。</b>					⇒確定申告書の写	
	<b>カ. あなたが認定対象者を扶養しなければならない理由についておきかせください。</b> (ここでの扶養は実質的経済援助による扶養です。)					⇒確定申告書の写	
	<b>キ. 認定対象者の現在の生活状況についておきかせください。</b> 認定対象者はあなたと同一世帯で生活されていますか。(家計別等)					⇒臨時雇用契約書の写及申請年度1月から申請時までのすべての給与明細書の写 ⇒源泉徴収票の写及離職票原本1,2	
	<b>ク. 認定対象者が居住されているところは、どなたの所有ですか。</b> (区分登記や共有名義の場合はその割合を記入してください。)					⇒確定申告書控の写又市町村民税申告書の控の写及び耕作面積の証 ⇒確定申告書控の写	
		<b>土地</b>	<b>割</b>	<b>の所有</b>	<b>割</b>	<b>の所有</b>	
		<b>家屋</b>	<b>割</b>	<b>の所有</b>	<b>割</b>	<b>の所有</b>	
	<b>ケ. あなたの他に扶養義務者はいますか。</b> あなたの兄弟姉妹より認定対象者に対して援助があればその金額をおしえてください。						
		<b>兄弟姉妹等援助者名</b>	<b>続柄</b>	<b>金額</b>			
				<b>月額</b>	<b>円</b>		
				<b>月額</b>	<b>円</b>		
				<b>月額</b>	<b>円</b>		
	<b>コ. 認定対象者各々の職歴をわかる範囲でおきかせください。</b>						
		<b>認定対象者名</b>	<b>会社名又は職業</b>	<b>期間</b>			
				～			
				～			
				～			
			～				
				<b>3. 別居設問</b> (被保険者別居している認定対象者の方だけ記入願います。)	<b>ア. 別居している理由についておきかせください。</b>	⇒別居認定対象者の世帯全員の住民票謄本	
					<b>イ. 認定対象者以外に同居者はいますか。</b>		
					<b>ウ. 認定対象者の居住している土地見物はどなたの所有ですか。</b>		
				<b>*ただし、単身赴任者及び就学中の子供は除きます。</b>	<b>エ. 認定対象者への仕送り方法及び仕送り額をおきかせください。</b> 仕送り方法 仕送額 月額 円	⇒仕送事実証明書類 例えば認定対象者名義の預貯金通帳の写等 *継続性の確認が必要ですので6ヶ月以上の送金事実が確認できるもの!	
					<b>オ. 認定対象者の近所に親族、兄弟姉妹は住んでいますか。すんでいるならばその氏名と認定対象者との関係及び住所をおきかせください。</b> 氏名 関係(続柄) 住所		

\*この調書提出後再調査及び追加書類の提出を依頼する場合があります。

\*住民票謄本・戸籍謄本・所得証明書は申請された認定対象者全員必ず提出して下さい。

<b>常務理事</b>	<b>専務長</b>		